

平成27年度 事業報告書

社会福祉法人 恩賜財団 済生会支部 静岡県済生会

済生会基本原則

社会福祉法人^{思賜財団}済生会は、済生勅語にみられる「施薬救療」の精神を承けて済生の実を挙げ、社会福祉の増進を図ることを目的として設立された。

以来、全国にわたり医療機関及びその他の社会福祉施設等を設置して定款に記された事業を行っている。

平成 27 年度静岡県済生会経営方針

済生会の理念と役割の実践

平成 26 年 4 月 1 日より、従来の理事会及び評議員会を統合し、支部運営に係る新たなる意思決定の場として「社会福祉法人^{思賜財団}済生会支部静岡県済生会支部理事会」を設置するとともに施設長の任免等一部人事権を除く支部事業全般について本部理事長から支部長に一元化して委任されるなど、機動的かつ効率的な組織運営の体制整備が図られた。

このような組織改革のメリットを最大限生かし、変化する経済・社会状況や経営環境に的確に対応しつつ、安定した経営基盤を確立・強化するとともに、本支部の「施薬救療」の具現化と社会的使命をより一層発揮するため 3 年目を迎える「中期事業計画」の着実な推進に努める。

1 済生会ブランドの構築のために

「施薬救療」の精神を具現化した無料低額診療事業は、済生会活動の原点である。この事業の一層の推進と生活困窮者への支援事業の充実並びに医療・福祉サービスの積極的な推進を図る。全職員がこの事業への理解を深め、幅広くかつ積極的に実行することにより済生会のブランドが確立する。

2 わが国最大の医療・福祉団体としての活動

- ・生活に密着した心温まる医療・福祉サービスを提供する。
- ・切れ目のない医療・福祉サービスを提供するためには、あらゆる種類の医療・福祉サービスが密接に連携する必要がある、この面でも先導的な役割を果たしていく。

3 行政・関係団体・地域住民等外部との連携・協力

地域における医療・福祉の需要に応えるため、行政や社会福祉協議会等の他団体との連携・協力などの仕組みを形成し、地域ネットワークのキーステーションとしての役割を担う。

4 良質な人材の確保、「済生会人」としての育成に努め、サービスの向上と組織体制の強化を図る。

5 地域社会のニーズに応えられるようその実現に努める。

6 ガバナンスの確立とコンプライアンスの徹底を図るとともに、危機管理体制の万全な備えに一層努める。

目 次

○ 平成 27 年度事業報告 (案)	頁
1 静岡県済生会支部事務局	1
2 静岡県済生会監査室	8
3 静岡済生会総合病院	11
4 静岡医療福祉センター児童部	16
5 静岡医療福祉センター成人部	20
6 静岡医療福祉センターライトホーム	22
7 静岡市発達障害者支援センター	24
8 伊豆医療福祉センター	26
9 静岡県川奈臨海学園	29
10 静岡市中心身障害児福祉センターいこいの家	31
11 小 鹿 苑	33
12 小鹿なでしこ苑	37
13 静岡市桜の園	39
14 静岡市中心身障害者ケアセンター	43
15 ワーク春日	47
16 静岡済生会看護専門学校	49
17 静岡済生会訪問看護ステーションおしか	51

※各記載事業の前の記号は次のとおりです。

① 指定管理による事業

② 自治体からの委託事業

1 静岡県済生会支部事務局（共通事業）

基本理念

生活困窮者を済う

医療で地域の生を守る

医療と福祉、会を挙げて切れ目のないサービスを提供する

平成 27 年度目標と結果

目標 1 5カ年に渡る中期事業計画と第2次なでしこプランの3年目にあたり、各事業の積極的な推進とその進捗状況の的確な管理を図る。

結果 本支部施設においては、施設行事開催に合わせて延べ 1,755 名（ホームレス 51 名、高齢者及び障害者 1,114 名、刑余者 47 名、外国人 169 名、母子児童 118 名、その他 256 名）に対して、健康診断、健康・医療相談等を行った。（詳細は、4 ページから 7 ページ参照）

目標 2 社会福祉の増進を図るべく、各施設への総合的な支援を行う。

結果 病院新館建築、福祉施設の経営改善、指定管理者公募への応募等に対し側面から施設への支援を行った。

（1）支部事務局運営事業

社会福祉法人^{思賜財団}静岡県済生会の法人管理並びに運営事務について、次のとおり事業を行った。

ア 支部理事会の開催・・・6 回開催（支部理事会 5 回）

	開催日	場所
第 1 回	平成 27 年 4 月 30 日	静岡済生会総合病院
第 2 回	平成 27 年 9 月 16 日	グランディエールブクトーカイ
第 3 回	平成 27 年 9 月 16 日	グランディエールブクトーカイ
第 4 回	平成 27 年 12 月 8 日	グランディエールブクトーカイ
第 5 回	平成 28 年 1 月 28 日	グランディエールブクトーカイ
第 6 回	平成 28 年 3 月 24 日	グランディエールブクトーカイ

イ 諸会議の開催

会議名称	回
・支部事務局会議	23 (26)
・支部執行会議	6 (4)
・職員共済制度委員会	1 (2)

ウ 済生会本部等との連絡調整

会 議 名 称	回
・支部長会議（本部）	1（2）
・全国済生会支部事務責任者会議（仮称）（福井県支部） 〔H25 までは、全国済生会常勤常務（業務担当）理事協議会〕	1（1）

エ 医療施設及び社会福祉施設等の有機的な連携を図るための連絡調整

会 議 名 称	回
・介護保険施設連絡会	3（4）
・静岡県済生会福祉医療施設長懇話会	1（-）

オ 第三者委員会の運営に係る業務・・・2回（2回）

	開 催 日	場 所
第1回	平成27年7月31日	なでしこ保育園
第2回	平成27年12月18日	静岡済生会総合病院

カ 職員研修事業の実施・・・1回（2回）

	開 催 日	内 容
第1回	平成27年4月1日	・新入オリエンテーション 法人概要と規程・規則の説明 無料低額診療事業の説明 コンプライアンスについて 新規採用職員108名出席

キ その他、法人の管理運営に係る業務

・会計事務所等による会計監査及び監事監査・・・全施設

	開 催 日	対 象
監査法人及び会計事務所による会計監査	平成27年4月22日、23日 平成27年4月21日	静岡済生会総合病院 福祉施設等
監事監査	平成27年4月24日	全施設

・行政機関（静岡県、静岡市）による指導監査への立会い

(2) 生活困窮者支援事業

生活困窮者総合支援事業（なでしこプラン）を病院、各施設とともに推進、展開した。（※各施設別詳細については、4ページ～7ページ参照）

また、就職相談会、介護フェア等においても無料低額診療事業等のパンフレット配布やDVD上映等を行い、啓発活動を実施した。

(3) 静岡県済生会職員共済制度事業

職員及び家族の福利厚生の上昇を図るため、各種給付及び貸付事業を実施した。実績は、次のとおりであった。

事業名	平成 27 年度		平成 26 年度	
	人数 (名)	決算額 (円)	人数 (名)	決算額 (円)
退職共済事業給付金	33	133,349,986	49	170,885,054
医療共済給付金	5,704	34,097,827	5,535	34,819,955
職員共済制度資金貸付事業	0	0	1	341,393

(4) 施設整備等への支援

ア 総合病院事業施設整備支援

新東館増築工事への支援を行った。

イ 静岡県川奈臨海学園

施設の小規模化と施設機能の地域分散化を目的とした「家庭的養護の推進計画」を策定するに当たり、県の所管課及び関係機関と老朽化した施設の建て替えも視野に入れ、今後の学園の在り方について協議を行った。

ウ 小鹿なでしこ苑

外部の専門委員も含む「小鹿なでしこ苑経営改善検討委員会」を設置し、認知症デイサービスの廃止、各施設保有の積立金を活用し借入金の一括繰上償還等経営改善に努めた。

エ 静岡市心身障害児福祉センターいこいの家、静岡市桜の園

指定管理の最終年となるため、継続指定に向け、事業計画の策定、申請等を支援した。

平成27年度なでしこプラン事業報告(平成27年4月1日～平成28年3月31日)

(単位：名)

支援対象	ホームレス	DV被害者	障害者 高齢者	刑余者等	外国人	母子児童	その他	計
27年度	51		1,114	47	169	118	256	1,755
26年度	18		1,265	57	92	129	261	1,822

H27年度目標 1,176

施設名	静岡医療福祉センター児童部
-----	---------------

事業名	障害児療育講座（健康医療相談）		内容	健康・医療相談（ ）							
概要	施設利用者・家族を対象に無料の相談会を療育セミナー開催時に行う。施設利用者だけでなく幅広く参加を募る		支援対象	ホームレス	DV被害者	障害者 高齢者	刑余者等	外国人	母子児童	その他	計
			対象者延数						107		107
実施延日数	8	従事者延数	38	支出総額(円) (内訳)							
特記事項	連携している 団体・機関名										
	事業実施上の問題点等 (未実施の場合は理由)										

施設名	静岡県川奈臨海学園
-----	-----------

事業名	りんかい保育室の緊急受け入れ事業		内容	その他（その他）							
概要	伊東市の委託によるの病児・病後保育事業「りんかい保育室」事業において、緊急を要するケース（虐待など）を事業外で受け入れていく		支援対象	ホームレス	DV被害者	障害者 高齢者	刑余者等	外国人	母子児童	その他	計
			対象者延数								
実施延日数		従事者延数		支出総額(円) (内訳)							
特記事項	連携している 団体・機関名										
	事業実施上の問題点等 (未実施の場合は理由)		該当の虐待ケースの受入れ無し。								

施設名	特別養護老人ホーム小鹿苑、小鹿なでしこ苑、静岡済生会総合病院、支部
-----	-----------------------------------

事業名	啓蒙・周知活動		内容	その他（広報）							
概要	施設利用者・家族を対象になでしこプランなどの済生会の活動について講演会を施設行事開催時に行う。施設利用者だけでなく地域住民へも幅広く参加を募る		支援対象	ホームレス	DV被害者	障害者 高齢者	刑余者等	外国人	母子児童	その他	計
			対象者延数			81				155	236
実施延日数	7	従事者延数	15	支出総額(円) (内訳)							
特記事項	連携している 団体・機関名		民生委員協議会、静岡市役所、静岡ケアマネ協会、従事者研修会								
	事業実施上の問題点等 (未実施の場合は理由)										

施設名	静岡市桜の園、静岡済生会総合病院
-----	------------------

事業名	虐待障害者への緊急受け入れ事業	内容	その他 (その他)							
概要	家族等による障害者への虐待の緊急保護において、緊急を要するケースを静岡済生会総合病院と連携し受け入れていく	支援対象	ホームレス	DV被害者	障害者高齢者	刑余者等	外国人	母子児童	その他	計
		対象者延数								
実施延日数	従事者延数	支出総額(円)	(内訳)							
特記事項	連携している団体・機関名									
	事業実施上の問題点等(未実施の場合は理由)	今年度は桜の園、市役所からの依頼が無かったため、対象者無し。								

施設名	静岡済生会総合病院
-----	-----------

事業名	「外国人のための無料健康相談と検診会」支援事業	内容	健康診断 ()							
概要	市医師会、実行委員会、医療福祉関係団体等と連携し、「外国人のための無料健康相談と検診会」に看護師やMSW等を派遣。血液検査などを無料にして、生活困窮外国人を対象に健康相談および検診を行う	支援対象	ホームレス	DV被害者	障害者高齢者	刑余者等	外国人	母子児童	その他	計
		対象者延数					72			72
実施延日数	1	従事者延数	30	支出総額(円)	¥473,040 (内訳)					
特記事項	連携している団体・機関名	外国人のための無料健康相談会と検診会実行委員会、静岡市静岡医師会、静岡県国際交流協会、静岡県立大学等								
	事業実施上の問題点等(未実施の場合は理由)									

事業名	ホームレス等受診者に対する日用品、交通費等の支給事業	内容	その他 (その他)							
概要	緊急入院したホームレス、DV被害者等の受診者を対象に日用品の支給を行う。また、軽症の場合等には、病院から目的地までの交通費の支給も行う	支援対象	ホームレス	DV被害者	障害者高齢者	刑余者等	外国人	母子児童	その他	計
		対象者延数	1		15					16
実施延日数	16	従事者延数	16	支出総額(円)	¥110,000 (内訳) 日用品の支給費					
特記事項	連携している団体・機関名									
	事業実施上の問題点等(未実施の場合は理由)									

事業名	ハローワーク健康診断・相談事業	内容	健康・医療相談 ()							
概要	静岡労働局、ハローワーク等と連携し、ハローワークや施設内等にて、求職者を対象に健康相談やカウンセリングを行う。また、要請に応じて、専門職員を派遣し、ケース会議の実施や専門的助言を行う	支援対象	ホームレス	DV被害者	障害者高齢者	刑余者等	外国人	母子児童	その他	計
		対象者延数								
実施延日数	従事者延数	支出総額(円)	(内訳)							
特記事項	連携している団体・機関名									
	事業実施上の問題点等(未実施の場合は理由)	今年度はハローワークからの依頼が無かったため、対象者無し。								

事業名	保護観察所等刑余者健診・相談事業		内容	健康診断 ()						
概要	支援対象	ホームレス	DV被害者	障害者 高齢者	刑余者等	外国人	母子児童	その他	計	
	対象者延数				47				47	
実施延日数	2	従事者延数	3	支出総額(円)	¥118,534		(内訳)			胃検査
特記事項	連携している 団体・機関名	静岡刑務所								
	事業実施上の問題点等 (未実施の場合は理由)									

事業名	児童・母子福祉施設等健診・相談事業		内容	健康・医療相談 ()						
概要	支援対象	ホームレス	DV被害者	障害者 高齢者	刑余者等	外国人	母子児童	その他	計	
	対象者延数									
実施延日数		従事者延数		支出総額(円)	(内訳)					
特記事項	連携している 団体・機関名	静岡県こども家庭相談センター								
	事業実施上の問題点等 (未実施の場合は理由)	今年度対象者無し。								

事業名	社会福祉施設等健康診断支援事業		内容	健康診断 ()						
概要	支援対象	ホームレス	DV被害者	障害者 高齢者	刑余者等	外国人	母子児童	その他	計	
	対象者延数				976			91	1,067	
実施延日数	56	従事者延数	504	支出総額(円)	¥2,476,907		(内訳)			
特記事項	連携している 団体・機関名	就労継続B型事業所(ラポールあおい、富士見作業所、日本平学園等) 母子生活支援施設(千代田寮)、軽費老人ホーム(白寿荘)、養護老人ホーム(静岡老人ホーム)、救護施設(静岡市救護所)等								
	事業実施上の問題点等 (未実施の場合は理由)									

施設名	支部、静岡済生会総合病院、静岡医療福祉センター成人部・児童部、伊豆医療福祉センター、静岡県川奈臨海学園、静岡市中心身障害児福祉センターいこいの家、小鹿苑、静岡市桜の園、ワーク春日									
-----	---	--	--	--	--	--	--	--	--	--

事業名	支部内各施設における無料健康相談会		内容	健康・医療相談 ()							
概要	支援対象	ホームレス	DV被害者	障害者 高齢者	刑余者等	外国人	母子児童	その他	計		
	対象者延数				11		11	10	32		
実施延日数	3	従事者延数	48	支出総額(円)	¥77,930		(内訳)				ポスター作成料等
特記事項	連携している 団体・機関名	ワーク春日、静岡医療福祉センター成人部、伊豆医療福祉センター									
	事業実施上の問題点等 (未実施の場合は理由)										

施設名	小鹿苑											
事業名	虐待高齢者緊急受入事業			内容							その他 (その他)	
概要	家族の介護放棄による虐待高齢者を緊急入所により受入れる			支援対象	ホームレス	DV被害者	障害者高齢者	刑余者等	外国人	母子児童	その他	計
				対象者延数								
実施延日数	従事者延数		支出総額(円) (内訳)									
特記事項	連携している団体・機関名		対象となる高齢者無し。									
	事業実施上の問題点等(未実施の場合は理由)											

平成27度事業計画後に実施した事業

施設名	静岡済生会総合病院									
-----	-----------	--	--	--	--	--	--	--	--	--

事業名	生活困窮者の無料健診、相談事業			内容							健康・医療相談 ()	
概要	神奈川県済生会と横浜市寿町で生活困窮者を対象に無料検診を行う。静岡済生会は、検診車を出し、レントゲンや視力・聴力など協力			支援対象	ホームレス	DV被害者	障害者高齢者	刑余者等	外国人	母子児童	その他	計
				対象者延数	50							
実施延日数	1	従事者延数		4	支出総額(円) (内訳)							
特記事項	連携している団体・機関名		神奈川県済生会、寿町勤労者福祉協会、寿炊き出しの会									
	事業実施上の問題点等(未実施の場合は理由)											

事業名	聴力障害者への支援			内容							その他 ()	
概要	聴力障害者を対象とし、診察、入退院時に手話通訳の支援、調整を行う。			支援対象	ホームレス	DV被害者	障害者高齢者	刑余者等	外国人	母子児童	その他	計
				対象者延数			31					
実施延日数	31	従事者延数		31	支出総額(円) (内訳)							
特記事項	連携している団体・機関名											
	事業実施上の問題点等(未実施の場合は理由)											

事業名	在留外国人への支援			内容							その他 ()	
概要	静岡県国際交流協会等と連携し、診察、入退院時に医療通訳の支援、調整を行う。(スペイン・ポルトガル語)			支援対象	ホームレス	DV被害者	障害者高齢者	刑余者等	外国人	母子児童	その他	計
				対象者延数					97			
実施延日数	59	従事者延数		59	支出総額(円) ¥291,783 (内訳)							
特記事項	連携している団体・機関名		静岡県国際交流協会									
	事業実施上の問題点等(未実施の場合は理由)											

2 静岡県済生会監査室

組織のコンプライアンスと説明責任が強く求められる今日、社会福祉法人においても内部統制システムの整備と適切な運用が強く要請される中で、これまで以上に業務チェック機能を果たす内部監査の重要性が高まっている。

平成24年度に発足した内部監査を所管する監査室は、昨年度に引き続き関係法令、通知等に基づき、施設の事務処理及び運営等が適正に行われているかどうかを明らかにし、必要な指導を行うために、下記の監査を実施した。

(1) 社会福祉法人^{豊田}済生会支部静岡県済生会監査規程に則って次の監査を実施

- ア 定期監査
時期及び内容を定めて計画的に実施
- イ 決算監査
毎会計年度終了後、決算役員会前に実施

定期監査

施設名	監査日
静岡県川奈臨海学園	平成27年6月30日
小鹿なでしこ苑	平成28年2月2日
小鹿苑	平成28年2月5日
静岡市桜の園	平成28年2月8日
静岡医療福祉センター児童部	平成28年2月9日
静岡医療福祉センター成人部	平成28年2月9日
なでしこ保育園	平成28年2月19日

決算監査

	開催日	対象
監査法人及び会計事務所による会計監査	平成27年4月21日	静岡済生会総合病院 福祉施設等
監事監査	平成27年4月24日	全施設

(2) 行政機関等による指導監査及び実地指導等への立会

- ア 静岡県・静岡市による指導監査

施設名	監査日	実施機関
静岡県川奈臨海学園	平成27年7月9日	静岡県
小鹿なでしこ苑	平成28年2月10日	静岡市
小鹿苑	平成28年2月12日	静岡市
静岡市桜の園	平成28年2月16日	静岡市
静岡医療福祉センター児童部	平成28年2月17日	静岡市
静岡医療福祉センター成人部	平成28年2月17日	静岡市
なでしこ保育園	平成28年2月23日	静岡市

イ 静岡県・静岡市による実地指導

施設名	監査日	実施機関
静岡市桜の園	平成 27 年 11 月 16 日	静岡市

ウ 静岡市による集団指導（実地指導を 3 年に 1 回の頻度に緩和するもの）

施設名	実施日	実施機関
ワーク春日	平成 28 年 2 月 9 日	静岡市
障害者生活支援センター城東	平成 28 年 2 月 9 日	静岡市
静岡医療福祉センター児童部やさしい街に	平成 28 年 2 月 9 日	静岡市
静岡医療福祉センター児童部	平成 28 年 2 月 15 日	静岡市
静岡医療福祉センター成人部	平成 28 年 2 月 15 日	静岡市

エ 東海北陸厚生局適時調査及び個別指導

施設名	監査日
伊豆医療福祉センター	平成 27 年 8 月 6 日

オ 東海北陸厚生局適時調査

施設名	監査日
静岡済生会総合病院	平成 27 年 11 月 6 日

カ 静岡労働局雇用管理聴取

施設名	監査日	実施機関
静岡済生会総合病院	平成 27 年 5 月 15 日	静岡労働局

キ 静岡市保健所立入検査

施設名	監査日	実施機関
静岡済生会総合病院	平成 27 年 10 月 2 日	静岡市保健所
静岡医療福祉センター児童部	平成 27 年 11 月 18 日	静岡市保健所

(3) 本部監査室による内部監査への立会

施設名	監査日
静岡済生会総合病院	平成 27 年 9 月 1 日
小鹿なでしこ苑	平成 27 年 9 月 2 日
小鹿苑	平成 27 年 9 月 2 日
静岡済生会看護専門学校	平成 27 年 9 月 3 日
静岡済生会訪問看護ステーションおしか	平成 27 年 9 月 3 日
静岡医療福祉センター児童部	平成 27 年 9 月 4 日

静岡医療福祉センター成人部	平成 27 年 9 月 4 日
ワーク春日	平成 27 年 9 月 4 日
静岡県川奈臨海学園	平成 27 年 9 月 17 日
伊豆医療福祉センター	平成 27 年 9 月 18 日

(4) 本部監査法人（トーマツ）による訪問調査への立会

施設名	監査日
静岡済生会総合病院	平成 27 年 12 月 15、16 日
静岡医療福祉センター	平成 27 年 12 月 16 日
静岡済生会訪問看護ステーションおしか	平成 27 年 12 月 16 日
小鹿苑	平成 27 年 12 月 17 日
小鹿なでしこ苑	平成 27 年 12 月 17 日
静岡済生会看護専門学校	平成 27 年 12 月 17 日

3 静岡済生会総合病院（病院等事業）

基本理念

私達は暖かい思いやりの心で質の良い医療・福祉サービスを実践します。

平成 27 年度目標及び結果

目標 1 優秀な人材の確保

結果 ・後期研修医 5 名確保。（循環器内科・小児科・耳鼻咽喉科・形成外科・泌尿器科）
・医師確保（循環器内科 2 名・呼吸器内科 3 名・麻酔科 1 名）

目標 2 働きやすい環境

結果 ・医師事務作業補助の増員
・障害者雇用率の向上に努めた。13 名勤務（5 名新規採用）
・職員旅行の実施

目標 3 安定した経営

結果 ・安定した財源による新館建築の遂行のため、医師の確保に努めた。

目標 4 安心・安全・高機能な急性期医療の提供

結果 ・エコアクション 21、医療機能評価、卒後臨床研修評価の更新審査
・事務、コメディカルの病棟への配置
・院内感染対策マニュアルを改定し一層の強化を図った。

目標 5 患者さん・連携医へのサービス向上

結果 ・身だしなみマニュアルの改訂
・広報活動を通じ紹介・逆紹介の推進に努めた。（広報誌や地域医師会との協議会等で地域連携への取組みを積極的に紹介した。）
・無料低額診療の推進に努めた。
・重度医療の食事・病衣代を無料にした。

静岡県中部地域の中核病院（昭和 23 年 6 月 1 日開設）として、入院診療を中心とする診療の充実に努めるとともに、救命救急センター、地域災害医療センター、健康管理センターのほか病診連携の強化・地域福祉サービス事業の運営・活動を積極的に進め、地域住民の疾病治療、予防、健康の増進を図った。

医療の質及びサービスの向上を図るため、医師等職員の確保、看護職員の定着対策、医療安全対策の強化に努めた。

(1) 病院運営事業

許可病床 521 床の有効利用と 25 科の診療体制による安定した運営に努めた。

区 分		平成 27 年度実績	平成 26 年度実績
入 院	患者延べ数	150,789 名	158,396 名
	1 日平均患者数	412.0 名	434.0 名
	患者 1 人 1 日当りの診療費	57,361 円	57,459 円
外 来	患者延べ数	226,368 名	227,600 名
	1 日平均患者数	931.6 名	932.8 名
	患者 1 人 1 日当りの診療費	15,052 円	14,098 円

(2) 救命救急センター・地域災害医療センター事業等

昭和 55 年 7 月 1 日より業務開始された救命救急センターに、医師・看護師・診療放射線技師・臨床検査技師及び事務員を配置し、休日夜間など 24 時間体制で治療を行った。

区 分	平成 27 年度実績	平成 26 年度実績
救急外来患者	12,403 名	13,220 名
入院患者	3,585 名	3,447 名
延べ入院患者	6,798 名	7,717 名
DMAT 研修延べ参加職員	2 名	0 名

(3) 臨床研修事業

臨床研修病院として、研修医を受け入れ、各科指導医による臨床実務を通じて基本的知識、技術の習得などの臨床研修を行い医師としての資質向上に努めた。

臨床研修終了後、5 名の医師を後期研修医として採用した。

区 分	平成 27 年度実績	平成 26 年度実績
受入研修医数	19 名	17 名

(4) 医師・看護師確保対策事業（院内保育所）

看護師の離職を防止し、潜在看護師の再就職を促進するため、院内に保育所を設けて、平成 27 年度には共同利用型院内保育所（定員 110 名）なでしこ保育園を新たに開設した。

区 分	平成 27 年度実績	平成 26 年度実績
就学前保育（共同枠）	66 名	（院内のみ） 56 名
〃 （地域枠）	17 名	
学童保育	3 名	
病児病後児	23 名	

(5) 地域福祉サービス事業

社会福祉法人の総合病院として、各医療福祉相談活動を通じ、地域住民の疾病治療、予防、健康の増進など社会福祉の向上に努めた。

区 分	平成 27 年度実績	平成 26 年度実績
医療福祉相談	5,602 件	6,448 件
心理相談	5,566 件	5,537 件
看護相談	4,448 件	4,380 件

(6) 無料低額診療事業

生計困難者を対象に、無料または低額な料金での診療、無料の健康相談、保健教育等を行った。診療活動においては、生活保護患者以外の生計困難者について関係機関と連携の上、対象者への支援を拡大した。（重度医療の患者の食事・病衣代を無料にした）また、福祉施設職員等を対象に、保健医療に関する研修会を開催した。（2 回開催延べ 103 人参加）

区 分	平成 27 年度実績	平成 26 年度実績
無料低額診療事業患者延べ数	27,858 件	25,563 件

(7) 生活困窮者支援事業

無料低額診療対象者のみならず、生活困窮者全般を対象に、無料健康相談や無料または低額な料金での検診等を行った。無料低額診療事業とあわせて、支部内の他施設も含め、地域の関係機関・団体や当事者とともに啓発活動、教育活動の他、地域での福祉的課題について積極的に取組を行った。

主な対象者：刑余者（刑務所などを出所した者）、DV被害者、ホームレス、単身高齢者、就労困難者への支援など

区 分	平成 27 年度実績	平成 26 年度実績
検診等	1,236 名	1,304 名
無料健康相談等	9 件	7 件
啓発活動	7 回	19 回

(8) 健康管理センター事業

地域住民及び福祉施設入所者、一般事業所従業員の疾病予防、健康の保持増進に因るため、生活習慣病集団検診・一般健康診断・人間ドック・脳ドック・特定健診等を積極的に実施した。

区 分	平成 27 年度実績	平成 26 年度実績
人間ドック	1,523 名	1,554 名
生活習慣病検診	8,587 名	8,512 名
婦人検診（子宮がん検診）	1,623 名	1,141 名
乳がん検診（マンモグラフィ）	1,163 名	732 名
〃（エコー）	1,114 名	584 名
脳ドック（脳検査）	46(131)名	82 名

(9) 岡本一男記念基金事業

静岡県済生会に勤務する職員が行う医学的研究・研修に対し助成するとともに、優れた業績の顕彰を行い、福祉・医療の向上を図った。

（医学の研究・研修・福祉医療活動 等）

区 分	平成 27 年度実績	平成 26 年度実績
助成件数	1 件	5 件

(10) ナーススクール事業

将来の生き方や職業の選択について考えている、主に静岡市内の小・高校生を対象として、保健・医療・福祉への理解を深めるため、ナース体験等の研修を開催した。

区 分	平成 27 年度実績	平成 26 年度実績
小学生参加人数	31 名	21 名
高校生参加人数	93 名	116 名

(11) 第 3 次医療圏再生推進事業

第 3 次医療圏再生推進事業費補助金の交付により、平成 23 年度から平成 30 年度にかけて新東館建て替えをはじめとする施設整備及び設備整備を行っている。平成 27 年度については、本体工事が終了し 3 月 31 日に引き渡しを受けた。

4 静岡医療福祉センター児童部 (病院等事業)

基本理念

私たちはノーマライゼーション実現のため、あたたかな心をもって皆さんを応援いたします。

平成 27 年度目標及び結果

- 1 医師の確保・・・非常勤小児科医師 1 名
- 2 看護師の確保
 - ・ 3～4 名採用・・・正看護師 3 名採用
- 3 経営の健全化
 - ・ 患者数の確保 1 日平均 入院 53 名 外来 180 名→入院 48.4 名 外来 189.8 名
 - ・ 施設基準の維持・・・10:1 入院基本料を継続
- 4 職員の質の向上及び早期離職防止を図る
 - ・ 職種別の資質向上のため専門研修への積極参加
- 5 特定・障害児相談による計画相談の実施
 - ・ 困難ケース対応中心に 132 名

(1) 医療型障害児入所施設事業 (一種事業) (定員 60 名)

入所児及び通院児に対し、リハビリテーションを中心にした専門的医療・教育・施設内保育・生活指導等の「総合療育」を実施した。従来の肢体不自由児療育に加え、近年発達障害児の増加も顕著であり、利用者からの幅広いニーズに応えた。入所児数及び外来患者数は前年と変わらない数となった。

(入 所)		(外 来)	
定 員	60 名	(60 名) 年間延べ患者	45,748 名 (45,663 名)
年間入所児童数	56 名	(62 名) 年間診療日数	241 日 (242 日)
年間退所児童数	57 名	(66 名) 一日平均患者数	189.8 名 (188.7 名)
年間延べ在所児童数	17,299 名	(17,669 名)	
年間延べ在所者数	17,649 名	(18,096 名)	
一日平均在所児童数	47.3 名	(48.4 名)	
一日平均在所者数	48.4 名	(49.6 名)	

疾病別人員 (平成 27 年 4 月 1 日～平成 28 年 3 月 31 日)

病 名	年間実人員 (名)	構成比 (%)
脳 性 麻 痺	80	83.3
進行性筋・神経疾患	5	5.2
二 分 脊 椎	3	3.1
その他	8	8.4
計	96	100.0

月別在所者数

年 月	初日在籍者数(名)	延べ人数 (名)
27 年 4 月	45	1,392
5 月	45	1,447
6 月	47	1,433
7 月	47	1,502
8 月	47	1,630
9 月	49	1,492
10 月	49	1,524
11 月	46	1,517
12 月	48	1,502
28 年 1 月	43	1,432
2 月	46	1,367
3 月	46	1,411
合 計	558	17,649
月平均	46.5	1,470.8
一日平均		48.4

(2) 障害福祉サービス事業 (短期入所) (二種事業)

障害者総合支援法による指定障害福祉サービス事業所として、市町から障害福祉サービス受給者証の交付を受けた利用者と契約し、家庭において、冠婚葬祭、疾病、事故などの理由や、養育者のレスパイトとしての休養や旅行等の理由による短期入所を受けることにより、本人及びその家族の福祉の向上を支援した。

- ・ 定員 空床利用型
- ・ 年間利用者数 148 名 (169 名)
- ・ 一日平均利用者数 0.41 名 (0.46 名)

(3) 障害児相談支援事業・特定相談支援事業（二種事業）

㊤ ア 静岡市障害者等相談支援事業

静岡市における相談支援事業指定施設として、在宅福祉を担当する職員を配置し、在宅の障害児（者）及び保護者に対して地域生活での具体的な相談、指導、サービスの調整を実施すると共に地域生活に根ざしたボランティアの育成を図った。

㊤ イ 障害者等相談支援事業（虐待相談等含む）

相談支援事業として総合的な在宅サービスの調整、援助等

支援等延べ件数 1,187名 4,902回 (4,327回)

㊤ ウ 障害児等療育支援事業

(ア) 在宅支援訪問療育等指導事業

- ・派遣職員 医師、PT、OT、ST、心理士等
- ・活動先 障害児保育実施園、重度障害児（者）訓練ホームの巡回、在宅訪問

支援等延べ件数 106名 106件 (186件)

(イ) 在宅支援外来療育等指導事業

- ・個別相談、療育音楽、グループ保育活動

支援等延べ件数 334名 334件 (348件)

(ウ) 施設支援一般指導事業

- ・障害児保育研修、発達フォローアップ教室、自主研修会等の指導等

支援回数 17回 (22回)

エ 指定特定相談支援事業・指定障害児相談支援事業

- ・利用者の相談支援及びサービス利用計画書の作成等

利用計画書作成件数 132件 (132件)

④ (4) 日中一時支援事業 (公益事業)

在宅福祉を担当する相談支援員を中心に、医療施設機能を提供しながら在宅の障害児 (者) の相談支援や施設短期入所の受け入れなど、地域に住む家族の生活への具体的な支援事業を実施した。

年間延べ利用者数 31 名 (24 名)

(5) その他の事業

ア 高校生リハビリテーション体験スクール
費用対効果等勘案し、26 年度に続き中止した。

参加人数 0 名 (0 名)

イ 研修室・会議室等運営事業

医療・社会福祉事業に携わる者の研修等の便宜に供するため、会議室等の管理運営事業を行った。

(ア) 会議室、ミーティング室利用状況

・福祉関係機関の研修会等	3,490 名	(2,387 名)
・福祉団体、ボランティア関係等の会議・講習会	3,691 名	(2,486 名)
・当福祉施設の見学研修等	45 名	(43 名)

(イ) 宿泊施設利用状況

宿泊施設利用人員 18 名 (21 名)

5 静岡医療福祉センター成人部 (社会福祉事業)

基本理念

健康で豊かに安心して生活できるよう支援します。

平成 27 年度目標及び結果

目標 1 豊かな生活を整えるため、日中活動の充実を図る。

結果 日中活動の中で、利用者が主体となり、外出行事を実施した。利用者自ら計画し参加することにより、充実した活動になった。

目標 2 利用者の入院日数の減少を目指す。

結果 感染症対策の強化（高熱を発した場合、職員が観察可能な個室へ移動し拡大を防ぐ等）により、外からのインフルエンザも拡大せず、一人のみであった。入院に至る疾病も減少した。一方で入所者の高齢・重度化により、骨粗鬆症、筋力低下、悪性腫瘍等の疾病が見られるようになってきた。医療だけではなく、日常生活の支援の充実を図った結果、入院日数が減少した。

(1) 障害者支援施設 (一種事業) (施設入所支援 60 名、生活介護 60 名)

障害者総合支援法による障害者支援施設として、日中は「生活介護」、夜間は「施設入所支援」の 2 事業を行った。

・ 定 員	施設入所支援	60 名	(60 名)
・ 年間入所者数		6 名	(3 名)
・ 年間退所者数		5 名	(5 名)
・ 年間延べ在所者数		19,918 名	(19,769 名)
・ 一日平均在所者数		54.7 名	(54.2 名)

疾病別人員

(平成 27 年 4 月 1 日～平成 28 年 3 月 31 日)

病 名	年間実人員 (名)	構成比 (%)
脳 卒 中	35	57.3
その他の脳原性疾患	9	14.8
脳 外 傷	1	1.7
そ の 他	16	26.2
計	61	100.0

月別生活介護・入所者数

(名)

月	入所 人数	生活介護						施設入所	
		入所		通所		合計		利用 人数	延べ利用数
		利用 人数	延べ利用数	利用 人数	延べ利用数	利用 人数	延べ利用数		
4	55	55	1,158	11	77	66	1,235	55	1,576
5	54	54	1,093	11	66	65	1,159	54	1,612
6	55	55	1,151	10	62	65	1,213	55	1,569
7	55	57	1,245	10	68	67	1,313	57	1,677
8	55	55	1,133	10	68	65	1,201	55	1,675
9	57	57	1,223	10	62	67	1,285	57	1,664
10	57	57	1,249	10	73	67	1,322	57	1,760
11	57	56	1,169	10	67	66	1,236	56	1,669
12	57	56	1,278	9	63	66	1,341	56	1,726
1	57	56	1,163	9	65	65	1,228	56	1,714
2	56	54	1,158	9	73	63	1,231	54	1,597
3	57	56	1,247	9	81	65	1,328	56	1,679
計			14,267		825		15,092		19,918

- ・定員 生活介護 60名 (60名)
- ・開所日数 262日 (261日)
- ・年間延べ利用者数 15,092名 (15,173名)
- ・一日平均在所者数 57.6名 (58.1名)

(2) 障害福祉サービス事業(短期入所)(二種事業)(空床)

短期入所事業を空きベッドを利用して実施した。

実績

- 年間延べ利用者数 334名(539名)
- 一日平均利用者数 0.9名(1.5名)

※ () 内は平成 26 年度実績

6 静岡医療福祉センターライトホーム（二種事業）

基本理念

三療免許者に対し、必要な技術及び生活指導を行い利用者の自立更生をはかる。

平成 27 年度目標及び結果

1 利用者（施術者）の確保

各地区視覚特別支援学校よりの施設見学、施術体験の受入…新利用者 4 名

2 経営の安定化

患者数の確保 利用客数 2,298 名 (2,369 名)

3 マッサージの無料奉仕の実施

平成 27 年 9 月 6 日実施 来所者数 58 名

4 済生会病院ホスピタルフェアへの参加（無料体験マッサージの実施）

平成 27 年 6 月 13 日参加

（1）利用者指導事業

利用者の技術（鍼・灸・マッサージ）及び生活訓練動作の指導を行い、自立生活ができるよう養成に努めた。

・定員	20 名	(20 名)
・年間新入所者数	4 名	(0 名)
・年間退所者数	2 名	(3 名)
・年間延べ在所者数	735 名	(794 名)
・一日平均在所者数	3.06 名	(3.28 名)

疾病別人員 (平成 27 年 4 月 1 日～平成 28 年 3 月 31 日)

疾病分類	入所実人員 (名)	通所実人員 (名)	構成比 (%)
先天性視覚障害者	0	1	14.3
中途視覚障害者	0	6	85.7
計	0	7	100.0

月別在所者数

年 月	入所者延べ 人数 (名)	通所者延べ 人数 (名)	延べ人数 (名)
27年 4月	0	62	62
5月	0	54	54
6月	0	66	66
7月	0	66	66
8月	0	57	57
9月	0	38	38
10月	0	63	63
11月	0	54	54
12月	0	57	57
28年 1月	0	71	71
2月	0	60	60
3月	0	87	87
合 計	0	735	735
月平均	0	61.3	61.3
一日平均	0	3.0	3.0

(年間通所日数 242日)

(2) その他

こころのバリアフリーイベントへの参加 (PR 及び無料体験マッサージの実施) を計画したが、悪天候のため中止した。

7 静岡市発達障害者支援センター（公益事業）

基本理念

直接支援である相談、発達、就労支援及び情報提供や啓発研修のより一層の充実を図り、医療、保健、福祉、教育、雇用、親の会など関係機関や団体と連携により専門性を持った支援職員人材育成、ペアレントメンター、地域サポーター事業インストラクター養成研修等の支援を行っていく。

平成 27 年度目標及び結果

- 1 静岡市健康づくり推進課・保健福祉センター保育課との連携
 - ・すくすくファイルの使用の仕方説明会 親子教室へのスタッフ派遣 5 回
 - ・静岡版早期発達支援プログラムの普及 研修会の開催 5 回
 - ・保健師・心理士のための専門研修会 1 回
 - ・ペアレントメンター派遣 3 回 など
- 2 保育士、学校支援員、支援員研修会、保育園幼稚園学校単位の内部研修会及び相談会の実施 合計 20 回
- 3 ライフステージに応じた切れ目のない支援体制の充実
 - ・静岡市特別支援教育連携協議会 本会議・専門部会 計 6 回
 - ・静岡市子ども・若者支援地域協議会 本会議・事務担当者会議 計 4 回

発達障害者支援法に基づく発達障害者に対する相談支援、発達支援、就労支援、関係機関に対する普及啓発及び研修等を行い、また、静岡市在住の自閉症、アスペルガー症候群、広汎性発達障害、学習障害、注意欠陥多動性障害等の発達障害がある本人、家族、関係者及び関係機関からの相談支援を行った。

②（1）発達障害者支援センター事業

ア 発達障害児者及び家族に対する相談支援

延べ支援件数	738 件 (836 件)	地域内 730 件 地域外 8 件
実支援人員	627 名 (655 件)	地域内 620 名 地域外 7 名

イ 発達障害児者及び家族に対する発達支援

延べ支援件数	1,994 件 (1,751 件)	地域内 1,990 件 地域外 4 件
実支援人員	872 名 (693 件)	地域内 870 名 地域外 2 名

ウ 発達障害児者に対する就労支援

延べ支援件数	283 件 (113)	地域内 276 件 地域外 7 件
実支援人員	131 名 (64)	地域内 126 名 地域外 5 名

エ 関係施設及び関係機関に対する普及啓発及び研修

(ア) センター主(共)催で企画した研修	実施回数	83 回	(52 回)
	延べ参加人数	2,928 名	(1,658 名)
(イ) 外部から講師依頼による職員派遣	派遣回数	27 回	(23 回)
	延べ参加人数	1,618 名	(809 名)
(ウ) 連絡協議会・調整会議の開催回数	実施回数	42 回	(27 回)
(エ) 機関コンサルテーション支援	実施支援箇所数	26 箇所	(29 箇所)
(オ) 個別支援のための調整会議の開催回数	実施回数	284 回	(253 回)

② (2) 家族支援・支援体制サポート強化事業

ア ペアレントメンター（地域サポーター）家族支援

(ア) 養成研修	実施回数	6 回	(6 回)
	延べ参加人数	339 名	(371 名)
(イ) 活用による支援	実施回数	25 回	(21 回)

イ 支援体制サポート強化事業による巡回

(ア) 保育園幼稚園への訪問支援	訪問箇所数	22 園	(22 園)
	参加職員数	810 名	(806 名)
(イ) 小中学校への訪問支援	訪問箇所数	10 校	(12 校)
	延べ参加職員数	251 名	(260 名)

8 伊豆医療福祉センター（病院等事業）

基本理念

私たちは、障がいを持つ方々の生活の充実・満足を目指して、チームを組んで医療と療育の総合的支援に取り組みます。

平成 27 年度目標及び結果

目標

- ・入所者の確保
- ・利用者の満足度の向上(医療機器の整備、居室・活動場所の効果的活用)
- ・在宅重症心身障害児者の福祉向上(送迎支援の導入検討)
- ・機能充実に伴う人材の確保・職員の質の向上
- ・健全な経営

結果

- ・ 27 年度中の入所児（者）の動向は、4 名の新規入所者、1 名の退所者があり、最終的に 3 名の増加となった。また、日中一時保護を含む短期入所の利用も平均で 5.5 人/日と増加した。
- ・ 短期入所支援、通所支援、相談支援等の福祉サービスの利用が増加しており、地域における当センターの存在が、従来の入所サービス中心の運営形態から在宅支援も含めた総合的な障害者支援センターに変わってきている。
- ・ ひとつひとつの看護・介護行為は、安全を心がけ、丁寧に実施した。安全対策委員会・感染防止委員会等を開催し、防ぐことのできる事故を起こさないよう努めた。
- ・ 重度・重症児（者）医療・療育講習会他へ職員を参加させ、職員の医療・療育技術の向上を図った。

（1）医療型障害児入所施設（一種事業）・障害福祉サービス事業（療養介護）（二種事業） （定員計 43 名）

平成 28 年 4 月 1 日現在の入所児(者)は、児童が 11 名、成人が 22 名の計 33 名で、平成 27 年度当初の 30 名から 3 名増加した。新規入所児(者)は、保護者が入院したことに伴う 3 か月の短期入所者 1 名、保護者の虐待が疑われる幼児 3 名で、今後このようなケースが増加すると思われる。

入所による療育支援のほか、外来では、脳神経外科、発達行動小児科、小児神経科、整形外科、リハビリテーション科、障害児(者)歯科による専門診療を実施した。また、在宅重症心身障害児(者)の通所事業、短期入所事業(日中一時支援事業を含む)、障害児(者)地域療育支援センター事業等を実施し、静岡県東部の障害児(者)の総合的な療育支援を担っている。

(入 所)

(外 来)

- ・定 員 43 名 (43 名)
- ・年間入所児童(者)数 4 名 (0 名)
- ・年間退所児童(者)数 1 名 (1 名)
- ・年間延べ在所児童(者)数 11,431 名 (10,972 名)
- ・一日平均在所児童(者)数 31.3 名 (30.1 名)
- ・年間延べ患者数 24,186 名 (23,761 名)
- ・年間診療日数 284 日 (284 日)
- ・一日平均患者数 85.2 名 (83.7 名)

疾病別人員 (平成 27 年 4 月 1 日～平成 28 年 3 月 31 日)

病 名	年間実人員 (名)	構成比 (%)
脳性麻痺	20	58.8
その他	14	41.2
計	34	100.0

月別在所児童 (者) 数

年 月	初日在籍者数 (名)	延べ人数 (名)
26 年 4 月	30	900
5 月	30	920
6 月	30	873
7 月	31	961
8 月	31	961
9 月	32	948
10 月	32	992
11 月	32	960
12 月	32	992
27 年 1 月	32	992
2 月	32	909
3 月	33	1,023
計	377	11,431
月 平 均	31.4	952.6
一 日 平 均		31.3

(2) 障害児通所支援事業 (児童発達支援) (二種事業)

- ・定 員 7 名 (7 名)
- ・年間延通所児数 1,569 名 (1,120 名)
- ・一日平均通所児数 7.0 名 (5.0 名)
- ・年間通園日数 224 日 (222 日)

(3) 障害福祉サービス事業（生活介護）（二種事業）

・定員	5名	(5名)
・年間延べ通所者数	903名	(969名)
・一日平均通所児数	3.8名	(4.1名)
・年間通園日数	240日	(238日)

(4) 障害福祉サービス事業（短期入所）（二種事業）

Ⓔ (5) 日中一時支援事業（地域生活支援）（公益事業）

・年間延べ利用者数	2,026名	(1,770名)
・一日平均利用者数	5.5名	(5.1名)
・年間実施日数	366日	(365日)

短期入所・日中一時支援の合計

(6) 障害児相談支援事業・特定相談支援事業・（二種事業）

ア 特定相談支援事業・障害児相談事業

平成25年11月より事業を開始し、相談支援専門員1名を配置し、計画相談等による支援を実施した。また、障害児（者）が充実して暮らせる地域づくりを目指し、行政機関・自立支援協議会との連携を図った。

・計画相談等	119件	(109件)
--------	------	--------

Ⓕ イ 静岡県障害児（者）地域療育支援センター事業

登録された障害児（者）を対象とし、在宅訪問・外来・施設支援等に対し、医師・PT・OT・ST・心理士・管理栄養士・看護師・保育士等を派遣し、在宅障害児（者）の療育指導を実施した。

・在宅支援訪問療育指導事業	81回	(64回)
・外来療育等指導事業	201回	(233回)
・施設支援一般指導事業	36回	(27回)
・各種連絡会・自立支援協議会等参加	45回	(48回)

Ⓖ ウ 静岡県発達障害者支援センター機能強化事業

自閉症、注意欠陥多動性障害等がある発達障害児（者）に対し、それぞれのライフステージに応じた生活を支援するため、地域での福祉サービス等の情報提供を行うとともに、学校・保護者を含む関係機関との調整会議に参加した。

県発達障害者支援センターが主催する研修会へ参加した。

賀茂地区の発達障害に関する巡回相談を22回実施した。

・地域生活支援事業（電話相談含む）	345回	(319回)
-------------------	------	--------

9 静岡県川奈臨海学園 (社会福祉事業)

基本理念

子どもの最善の利益のため、子どもたち一人ひとりが、尊重され、心身とも健やかに育成され、将来健全な社会の一員として、自立できるよう支援を行う。

平成 27 年度目標及び結果

目標 1 「児童養護施設等の小規模化及び家庭的養護の推進」について、関係機関及び行政との連携、静岡県との相談のうえ、施設のあり方を視野に入れ、引き続き検討していく。

結果 平成 26 年度に家庭的養護推進計画を静岡県へ提出した。静岡県川奈臨海学園としては、家庭的養護を推進するためには、全面建て替え、小規模化へ移行する方向と考えたため、建て替えに向けて他施設の見学、運営面、処遇面について職員と話し合い、検討を進めた。今後については、運営面、処遇面の検討も継続し、資金計画が立てられるよう進めて行きたいと考えている。

目標 2 家族との連携及び協働について、家族再統合のできる家庭の調整。

結果 帰省や面会を継続して行える家庭、家族との連携をし、児童とその家族に対して、支援を行ってきた。平成 27 年度は、10 名の児童が家庭復帰を果たした。

目標 3 平成 26 年度より配置された里親支援専門相談員が、里親の研修、実習等を実践、新たな里親の開拓や、資質の向上のサポート等を継続していく。

結果 里親支援専門相談員を配置して 2 年となり、研修、里親実習を積極的に受け入れた。平成 27 年度は、1 名の児童が里親委託となった。

(1) 児童養護施設運営事業 (一種事業)

ア 児童養護施設運営事業

虐待を受けた児童が増加する中、2 才児から高校生まで月平均 65.6 名の子どもたちに対し、職員全体が関わりながら、より良いケアに努力した。

・定員 (暫定定員)	80 名	暫定定員 77 名	(73 名)
・年間入所児童数		11 名	(17 名)
・年間退所児童数		20 名	(11 名)
・年間延在所児童数		23,810 名	(24,588 名)
・一日平均在所児童数		65.1 名	(67.4 名)

入所理由別人員 (平成 27 年 4 月 1 日～平成 28 年 3 月 31 日)

入 所 理 由	年間取扱実人員 (名)	構成比 (%)
疾 患	2	2.7
養 護	21	28.0
虐 待	52	69.3
計	75	100.0

月別在所児童数

年 月	初日在籍者数 (名)	延べ人数 (名)
27年 4月	65	1,900
5月	64	1,984
6月	65	1,950
7月	66	2,014
8月	63	1,953
9月	63	1,870
10月	64	1,992
11月	66	1,988
12月	68	2,108
28年 1月	68	2,108
2月	68	1,972
3月	68	1,971
計	788	23,810
月 平 均	65.7	1,984.2
一 日 平 均		65.1

イ 小規模グループケア

小規模グループケア棟で定員6名、専任職員と本体施設職員がシフトを組み、児童との関係を密接にし、ケアの内容を深めた。

⑤ ウ 病児保育事業（二種事業）

児童福祉法及び社会福祉法の一部改正により今年度からは、第二種社会福祉事業として実施した。伊東市との病児保育事業業務委託を受け、基本理念を「子どもたちの健全な成長と発達を保障しつつ、疾病からの回復を援助する」とし、病児の看護保育を行う。

平成27年度の利用

- ・登録児童数 731名 (707名)
- ・年間利用延べ児童数 222名 (246名)
- ・月平均利用児童数 18.5名 (20.5名)

(2) その他 乳幼児受け入れ

伊東市立川奈幼稚園や近隣地域と連携を取り、理解と協力を得ながら、積極的な乳幼児の受け入れを行った。月平均 9.8名 (14.3名)

10 静岡市心身障害児福祉センターいこいの家（社会福祉事業）

基本理念

いこいの家は、児童憲章の精神を尊び、障がいのあるこども、又はその可能性のあるこどもが地域で育つ時に生じる様々な問題や発達の基盤である家庭生活への支援により、こども達の健やかな育ちと安心、安全な生活の達成に努めます。

平成 27 年度目標及び結果

目標 障がい幼児の通園事業を核として、発達の遅れが心配な就園前幼児の親子教室・療育相談や、保育所・幼稚園に就園している幼児の保育所等訪問支援、障がい児の相談支援等の事業の一層の充実を図る。

結果

- ・核となる通園事業は、自閉傾向のあるこどもが増える一方、医療的ケア（胃瘻・気管切開・経鼻経管）がありながらも歩行可能なこどもが増え、対応の多様化が求められた。また、今年度は、2月にインフルエンザが流行し、出席児が減少したが、一年を通しては安定した出席率だった。
- ・親子教室は、充実した対応を図るため、就園前の2才児を対象としたが、歩行可能なグループは参加児が多く、未歩行のグループは参加児が減少した。
- ・保育所等訪問支援は、継続児も多く、安定した利用状況だった。
- ・相談事業のうち利用計画は、兄弟関係のみを受ける位で新規を増やせず、その他の相談件数は平均6割程度増加しているため、今後、相談員の増も考えていきたい。

⑩（1）障害児通所支援事業（二種事業）

ア 児童発達支援通所支援

就学前の心身障害児に対して集団参加を通して、生活と遊びを充実させ、健やかな成長、発達をしていくように支援し、併せて就園・就学に向けての基礎作りをした。

・入園児数	（定員）	50名	（50名）
・年間新入所児童数		24名	（15名）
・年間退所児童数		25名	（24名）
・年間延在所	（通園）児童数	9,321名	（9,511名）
・一日平均在所	（通園）児童数	39.0名	（39.1名）

疾病別人員（平成 27 年 4 月 1 日～平成 28 年 3 月 31 日）

病名	年間取扱実人員（名）	構成比（%）
脳性麻痺	9	18.0
自閉症（自閉傾向を含む）	22	44.0
精神遅滞（発達遅滞を含む）	4	8.0
染色体異常（ダウン症他）	9	18.0
その他	6	12.0
計	50	100.0

月別在所児童数（年間通所日数 239 日） (名)

年 月	初日在籍者数	延 人 数
27年 4月	50	659
5月	50	721
6月	50	925
7月	50	870
8月	50	736
9月	50	746
10月	50	838
11月	50	741
12月	50	757
28年 1月	50	740
2月	50	774
3月	50	814
合 計	600	9,321
月平均	50	776.8
一日平均		39.0

イ 保育所等訪問支援

訪問相談	65 件	(37 件)
来所相談	79 件	(35 件)
電話相談	355 件	(167 件)

指 (2) 障害児相談支援事業・特定相談支援事業(二種事業)

障害児支援利用計画	106 件	(100 件)
特定相談計画	0 件	(1 件)
モニタリング	77 件	(55 件)
一般相談	228 件	(118 件)
電話相談	1,075 件	(674 件)
訪問支援	144 件	(93 件)
その他	208 件	(195 件)

(3) その他 地域療育支援事業

ア 親子教室 年間 204 回（月平均 17 回）登録者数 130 名（139 名）

参加児延べ数 1,518 名（1,695 名）

イ 療育相談の実施（随時）43 名（41 名）一般相談（電話及び来所）380 名（278 名）

ウ 地域交流等

地域に開かれた通園施設として、地元をはじめ広く市民やボランティア、学生、主婦の方々との交流を実施した。

- ・いこいの家通信発行 12 回（12 回） 370 部（380 部）
- ・夏祭り参加者 398 名（449 名）
- ・城東保健福祉エリア地域交流まつり参加者（いこいの家関係のみ）383 名（全体約 4,500 名）
- ・実習生受入 23 名（34 名） 延べ 251 名（241 名）
- ・体験研修受入 42 名（26 名） 延べ 85 名（55 名）
- ・ボランティア受入個人 17 名 団体 53 名 延べ 431 名
 (15 名) (57 名) (462 名)

11 小 鹿 苑（社会福祉事業）

基本理念

私たちは、ご利用者一人ひとりの声に耳を傾け、真に、ご利用者の立場に立った支援を
実践します。

平成 27 年度目標及び結果

ご利用者自らが望む生活を施設や地域の中で実現できるように支援する。

目標 1 入所者の良好な生活環境を保持し、快適な暮らしを提供する。

- ・入所者や家族が、全ての職員と顔が見える関係になるよう環境を整える。
- ・入所者のケアプランに余暇を充実させるための目標を取り入れ実行する。

結果

- ・ご利用者やご家族が相談員、看護師、管理栄養士等の職員へ相談をしやすいように、エレベーターホール付近に職員デスクを配置した。ご家族には特に好評であった。
- ・年度途中で退職した職員の充足ができなかったため、ご利用者からの要望が多かった個別外出が予定通りに実施できなかった。

目標 2 高齢者が住み慣れた地域で安心して生活できるように、6 事業が連携を取り地域のサービス窓口となるよう活動する。

- ・適切なサービス提供が行えるように、在宅サービス事業担当者が中心となって支援する。

結果

- ・在宅サービス事業の連携は比較的良好で、独居高齢者の緊急ショートステイ利用など様々な案件について迅速な対応ができた。しかし在宅サービス事業の稼働率の増加には至らなかった。

目標 3 質の高いサービスを提供できる職員を育成するため外部研修の充実を図る。

結果

- ・前年度より職員の外部研修の受講は増加したが、6 事業の職員を偏りなく外部研修に参加させることができなかった。また外部研修受講者の伝達講習を施設職員全体で共有できる機会を多くできなかった。

(1) 特別養護老人ホーム運営事業（一種事業） 80 名定員（80 名）

2 階エレベーターホール近くに職員デスクを配置したことにより、ご家族、来苑者への対応がスムーズにできるようになった。

中庭を活用し、暖かな季節には青空のもとランチを楽しみ、ウインターシーズン

には施設初の試みとなったイルミネーションを楽しむことができた。

ポジショニング（褥そう等の予防のための姿勢矯正）を継続して実施し、講師の指導のもと介護度の高い方のQOLの向上に取り組んだ。

本年度より特養入所要件が介護度3以上になったため、入所希望者は若干減少した。新規の入所申込が70件あり、入所希望者は平成27年度末現在で109名（135名）である。

・年間新入所者数	14名	(34名)
・年間退所者数	19名	(34名)
・一日平均在所者数	78.4名	(77.6名)
・入所者平均年齢	85.1歳	(85.1歳)
・平均介護度	3.7	(3.7)

疾病別人員 (平成27年4月1日～平成28年3月31日現在)

病名	年間実人員(名)	構成比(%)
脳卒中等	26	27.6
認知症等	39	41.5
心疾患等	3	3.2
リウマチ、脊椎症等	9	9.6
その他	17	18.1
計	94	100.0

(2) 老人短期入所事業（二種事業） 定員20名（20名）

施設入所等により26名利用者が減少し、新規利用者は22名であった。

例年どおり、週末・連休期間の希望者は多数であった。また、一人年間利用日数は、平均63.4日(55.5日)であった。

・年間延べ利用者数	5,524名	(6,387名)
・月平均利用者数	460.3名	(532.3名)
・一日平均利用者数	15.1名	(17.5名)
・利用者平均年齢	84.8歳	(84.5歳)
・平均介護度	3.1	(3.1)

(3) 老人デイサービスセンター（通所介護事業）（二種事業）定員一日35名（35名）

通常規模型（月次301名以上750名以下）でサービスを行った。

施設入所等により27名の利用者が減少し、新規利用者は15名であった。

・年間延べ利用者数	6,398名	(6,710名)
・月平均利用者数	533.2名	(599.2名)

・ 一日平均利用者数	20.8 名 (21.9 名)
・ 年間実施日数	308 日 (307 日)
・ 利用者平均年齢	86.9 歳 (87.2 歳)
・ 平均介護度	要支援 1.7 要介護 2.3 (要支援 1.7、要介護 2.2)

(4) 老人居宅介護等事業（訪問介護事業）（二種事業）

13 名 (15 名) のホームヘルパーが稼動した。施設入所等により 20 名の利用者が減少し、新規利用者は 16 名であった。

・ 年間延べ利用者数	6,282 名 (7,224 名)
・ 月平均利用者数	523.5 名 (602.0 名)
・ 一日平均利用者数	20.2 名 (23.3 名)
・ 年間活動日数	311 日 (310 日)
・ 利用者平均年齢	83.1 歳 (81.2 歳)
・ 平均介護度	1.9 (2.6)

⑤ (5) 地域包括支援センター運営事業（公益事業）

静岡市からの受託事業であり、主に地域支援事業と指定介護予防事業を行った。西豊田、東豊田、東源台小学校区を担当し、高齢者の方からの総合相談、介護保険要支援認定者の予防プラン作成を行い、関係機関や民生委員との連携により問題解決に努めた。

支援困難ケースについて、その取り組みの検討や、地域課題の抽出を目的とした地域ケア会議を実施した。

・ 年間延べ相談者数	1,606 名 (1,250 名)
・ 月平均相談者数	133.8 名 (104.2 名)
・ 一日平均相談者数	5.2 名 (4.1 名)
・ 介護予防支援 (直営・委託)	4,058 件 (3,784 件)
・ 年間活動日数	309 日 (307 日)

(6) 居宅介護支援事業（公益事業）

5 名 (4 名) のケアマネジャーが稼動し、ケアプランを作成した。要介護認定調査は、年間 160 件 (123 件) であった。

・ 年間ケアプラン給付管理者延べ数	1,392 件 (1,457 件)
・ 月平均数	116 件 (121 件)
・ ケアプラン新規作成者	62 名 (57 名)
・ 平均介護度	2.4 (2.4)

月別在所（利用）者数

（名）

区分	特 養		短 期		デｲｲｰﾍﾞｽ		ﾎｰﾑヘルﾊﾟｰ		地域包括支援センター	
	人数	延人数	人数	延人数	人数	延人数	人数	延人数	人数	延人数
27年4月	81	2,387	50	484	73	546	68	565	119	155
5月	80	2,450	53	539	73	558	66	527	75	116
6月	83	2,316	52	457	72	564	66	555	92	136
7月	80	2,453	53	440	72	568	66	586	98	140
8月	81	2,430	52	439	67	531	68	551	78	122
9月	80	2,386	51	429	71	525	68	533	76	114
10月	82	2,463	49	434	72	559	68	561	77	123
11月	80	2,384	50	494	69	525	68	525	87	132
12月	80	2,433	52	442	64	506	64	468	81	155
28年1月	79	2,406	53	422	61	487	64	449	83	139
2月	81	2,254	48	468	61	489	62	454	75	122
3月	79	2,349	52	476	61	540	63	508	90	152
合計	966	28,711	615	5,524	816	6,398	791	6,282	1,031	1,606
月平均	80.5	2,392.6	51.3	460.3	68	533.2	65.9	523.5	85.9	133.8
一日平均	78.4		15.1		20.8		20.2		5.2	

12 小鹿なでしこ苑 (社会福祉事業)

基本理念

あなたがあなたらしく 私が私らしく

平成 27 年度目標及び結果

- 目標 1** ホウレンソウ (報告・連絡・相談) を徹底し、情報を共有する。
結果 イントラネット及び事務所内の掲示板、各委員会をとおして情報共有に努めた。
- 目標 2** 介護技術の向上に努め、サービスの質の向上を目指す。
結果 苑内研修の内容の充実を図った。また、苑外研修や研究発表会へ参加し、コンプライアンスや介護技術の向上を図ることに努めた。
- 目標 3** 利用者の立場で考えることを実行する。
結果 ケアプランを通し、その人らしい生活の援助について検討を重ねた。
- 目標 4** 「自分がその立場だったら」から、言動・行動を選択する。
結果 苑内研修、ユニット会議等において、自分がされたら嫌なこと、自分が言われたら嫌な言葉を共有し、改善に努めた。
- 目標 5** 自己啓発を実行し、専門職の力量を高める。
結果 社会福祉士・介護福祉士・介護支援専門員資格取得のための勉強会の開催等、資格取得や技術力アップを図った。
- 目標 6** 1 年間の目標を定め、それに向け努力する。
結果 ユニットごとに研究課題を定め、苑内で研究発表会を行った。
- 目標 7** 提供したサービスの反省を行い、サービスの質の向上に努める。
結果 ユニット会議において、個々の状況を細部にわたり把握し、よりよいサービス提供に向けた検討を行った。
- 目標 8** コストの削減に努める。
結果 オムツはずしの更なる推進、省エネ運動の継続、共同購入や一括購入、マニュアル化による業務効率の向上等による更なるコストの削減に努めた。

(1) 特別養護老人ホーム運営事業 (一種事業)

定員 96 名 (96 名)

研修体制の強化、介護福祉士資格取得支援、業務マニュアルの見直し等を行い、入居者の処遇改善に努めた。

・年間新入所者数	19 名	(12 名)
・年間退所者数	20 名	(10 名)
・一日平均在所者数	95.3 名	(95.6 名)
・入所者平均年齢	85.0 歳	(84.4 歳)
・平均介護度	3.6	(3.4)

(2) 短期入所事業 (二種事業)

定員 13 名

(12 名: ~H26. 12. 31)

(13 名: H27. 01. 01 ~)

日中活動の充実、土日祝送迎の強化、業務内容の見直し等により、利用しやすい環境整備を行った。

・年間延べ利用者数	3,693名	(3,555名)
・月平均利用者数	307.8名	(296.3名)
・一日平均利用者数	10.1名	(9.7名)
・利用者平均年齢	87.1歳	(83.7歳)
・平均介護度	3.6	(3.5)

(3) 通所介護事業 (二種事業)

定員一日 12 名

(12 名)

平成 27 年 4 月の介護報酬改定により、本事業の継続が困難となったため、平成 27 年 10 月 31 日をもって廃止した。

・年間延べ利用者数	578名	(1,583名)
・月平均利用者数	82.6名	(131.9名)
・一日平均利用者数	3.1名	(5.2名)
・年間実施日数	184日	(304日)
・利用者平均年齢	87.1歳	(86.1歳)
・平均介護度	2.9	(3.2)

月別在所 (利用) 者数

(名)

区分 年 月	特 養		短 期		通 所	
	人数※	在所者延人数	人数	利用者延人数	人数	利用者延人数
27年4月	94	2,826	31	260	17	119
5月	94	2,954	36	282	16	113
6月	95	2,863	36	315	15	84
7月	96	2,957	34	316	12	89
8月	96	2,976	34	308	12	81
9月	96	2,880	32	306	11	92
10月	96	2,972	31	296	0	0
11月	95	2,871	33	313	—	—
12月	96	2,973	32	320	—	—
28年1月	95	2,959	31	319	—	—
2月	95	2,773	31	317	—	—
3月	95	2,964	31	341	—	—
合計	1,143	34,968	392	3,693	83	578
月平均	95.3	2,914.0	32.7	307.8	6.9	82.6
一日平均		95.5		10.1		3.1

※月末入所者数

※4月から10月まで

13 静岡市桜の園 (社会福祉事業)

基本理念

「あなたらしさを応援します」
 人権を尊重し、日々有効なサービスを展開します。そして常に生活の豊かさを求めます。

平成 27 年度目標及び結果

- 目標 1** 前年度から引き続き質の高いサービスを提供するために日中活動の充実強化を図り、地域に開かれた施設づくりを目指します。
- 結果** 通所事業においてはサービス提供時間の延長に合わせて日中活動を見直した。施設主催の秋桜祭や城北館での成人式、地域防災訓練などを通じ地域の町内会や地区社会福祉協議会と交流を行った。
- 目標 2** 生活介護は利用料金制である。安定した運営のため、目標の利用者数を確保する。
 (1 日平均利用者、生活訓練ホーム 20 名・生活訓練ホーム城北館 15 名)
- 結果** 生活介護利用者は目標の利用者数を達成できなかった。
 (1 日平均利用者、生活訓練ホーム 19.5 名・生活訓練ホーム城北館 12.7 名)
- 目標 3** 入所者の地域移行の推進と本人の意向に沿った生活の選択への支援を行う。
- 結果** 前年度地域移行された方への訪問を行った。グループホームなどの情報収集を行った。

④ (1) 障害者支援施設事業 多機能型 (一種事業) (定員 115 名) (115 名)

ア 施設入所支援 (定員 50 名)、施設入所をともなう生活介護 (定員 50 名)

個別サービスについては、入所者全体の平均年齢が 60 歳に迫っていることから看護・介護職員が連携し、年 2 回の健康診断の実施、日常での健康状態の観察、異常の早期発見と迅速な対応を心がけた。作業療法士 (OT) による集団・個別リハビリの実施、職員研修を実施した。

- ・年間入所者数 2 名 (1 名)
- ・年間退所者数 4 名 (3 名)
- ・年間延べ在所要者数

施設入所支援	16,759 名	(17,396 名)
生活介護	12,023 名	(12,475 名)
- ・一日平均在所要者数

施設入所支援	45.8 名	(47.7 名)
生活介護	45.9 名	(47.8 名)

疾病別人員 (平成 27 年 4 月 1 日 ~平成 28 年 3 月 31 日)

病 名	年間実人員 (名)	構成比 (%)
脳血管障害	7	14
脳性麻痺	18	36
脳外傷 (頭部外傷)	8	16
脊髄損傷	6	12
下肢機能障害 (上記以外)	3	6
特定疾病 (難病等)	7	14
その他	1	2
計	50	100

月別在所 (利用) 者数 (名)

区 分	入所支援		生活介護			
	人数	延べ人数	人数	延べ人数		
27 年	4 月	48	1,401	48	1,032	
	5 月	48	1,465	48	994	
	6 月	48	1,412	48	1,038	
	7 月	47	1,442	47	1,071	
	8 月	47	1,432	47	971	
	9 月	47	1,365	47	1,002	
	10 月	47	1,385	47	985	
	11 月	46	1,333	46	935	
	12 月	46	1,416	46	1,054	
	28 年	1 月	47	1,397	47	950
		2 月	46	1,300	46	942
		3 月	46	1,411	46	1,049
合 計	563	16,759	563	12,023		
月平均	46.9	1,396.6	46.9	1,001.9		
一日平均		45.8		45.9		

(入所支援日数 366 日・入所生活介護日数 262 日)

イ 通所生活介護 定員 50 名

(生活訓練ホーム静岡市桜の園 25 名、生活訓練ホーム城北館 25 名)

生活訓練ホーム静岡市桜の園では、グループ活動の充実や社会参加を意識したプログラムを実施した。城北館においては、安全を配慮しながら感覚運動を多く取り入れた。

生活訓練ホーム静岡市桜の園

- ・実利用人数 53 名 (52 名)
- ・年間延べ利用者数 4,722 名 (4,724 名)
- ・一日平均利用者数 19.5 名 (19.5 名)

生活訓練ホーム城北館

- ・実利用人数 21 名 (22 名)
- ・年間延べ利用者数 3,073 名 (3,380 名)
- ・一日平均利用者数 12.7 名 (14.0 名)

利用者数調 (平成 27 年 4 月 1 日～平成 28 年 3 月 31 日)

区 分	定 員	年 間 新利用者数	年 間 退所者数	年 間 延べ利用者数	一日平均 利用者数
生活訓練ホーム 静岡市桜の園	25 (25)	5 (9)	6 (5)	4,722 (4,724)	19.5 (19.5)
生活訓練ホーム 静岡市城北館	25 (25)	1 (5)	3 (2)	3,073 (3,380)	12.7 (14)

月別利用者数 (名)

区 分	生活訓練ホーム静岡市桜の園		生活訓練ホーム城北館			
	年 月	初日在籍者数	延べ人数	初日在籍者数	延べ人数	
27 年	4 月	44	409	21	282	
	5 月	43	345	21	239	
	6 月	44	434	21	302	
	7 月	46	426	21	295	
	8 月	46	398	21	285	
	9 月	46	347	22	244	
	10 月	46	413	22	257	
	11 月	46	382	21	224	
	12 月	47	375	21	225	
	28 年	1 月	49	362	21	223
		2 月	48	399	21	238
		3 月	48	432	20	259
合 計	553	4,722	253	3,073		
月平均	46.1	393.5	21.1	256.1		
一日平均		19.5		12.7		

(年間通所日数 242 日)

ウ 自立訓練（機能訓練） 定員 15名（15名）

機能訓練・送迎・入浴・食事のサービスを提供するとともに、利用者のニーズに応じて市内各所への外出等、社会性向上の活動や、専門家による創作的活動等の事業を実施した。

- ・実利用人数 2名（5名）
- ・年間延べ利用者数 110名（210名）
- ・一日平均利用者数 0.5名（0.9名）

⑩（2）日中一時支援事業（公益事業）〔自立訓練（機能訓練）空床利用〕

日中において一時的な見守りその他の支援を必要とする障害者に対して送迎・入浴・食事のサービスを提供した。

- ・実利用人数 16名（19名）
- ・年間延べ利用者数 657名（808名）
- ・一日平均利用者数 2.7名（3.3名）

⑩（3）障害福祉サービス事業（短期入所）（二種事業） 定員5名（5名）

年間を通じて緊急の要請に対応し受け入れを行った。他施設での困難な事例にも積極的に受け入れを行った。虐待事例のほかにも家族の急な傷病や住環境の整備のための一時的な利用など地域で暮らす方々のニーズに対応した。緊急的利用の事例のうち2例については、入所に至っている。

- ・実利用人数 39名（42名）
- ・年間延べ利用者数 1,038名（1,103名）
- ・一日平均利用者数 2.8名（3.0名）

月別在所（利用）者数（年間通所日数 242日） (名)

区 分	自立訓練（機能訓練）		日中一時		短期入所			
	人数	延べ人数	人数	人数	人数	延べ人数		
27年	4月	2	15	16	62	17	93	
	5月	2	14	15	53	15	88	
	6月	2	18	15	70	20	104	
	7月	2	16	15	64	11	85	
	8月	2	17	15	60	16	85	
	9月	2	14	15	56	15	91	
	10月	1	9	15	59	18	126	
	11月	1	7	14	52	17	117	
	12月	0	0	14	42	14	74	
	28年	1月	0	0	12	39	9	40
		2月	0	0	12	48	13	49
		3月	0	0	11	52	13	86
合 計	14	110	169	657	178	1,038		
月平均	1.2	9.2	14.1	54.8	14.8	86.5		
一日平均		0.5		2.7		2.8		

14 静岡市心身障害者ケアセンター（社会福祉事業）

基本理念

一人ひとりが地域の一員として、自立した日常生活を営むことができるよう、利用者が主役となり地域福祉に貢献できる施設を目指します。

平成 27 年度目標及び結果

目標 1 自立訓練新規利用者の確保に努める。

結果 (1) 特別支援学校等開催の説明会への積極的な参加や実習生の受入れにより、卒業後の進路先として認知され、平成 27 年 4 月より 1 名の卒業生が利用を開始した。
(2) 26 年度より、日中一時支援を週に複数回利用している方への説明を行い、納得の上で週 1 回利用に変更していただき、自立訓練の枠を確保し、新規の利用受入れが可能になった。

目標 2 利用者の意向にできる限り沿うことが出来るように努める。

結果 (1) 自立訓練の複数回利用を希望する方で、送迎を希望する方については、ルートの見直しを行い、可能な限り送迎ができる様に努めた。
(2) 複数回利用されている方の理学療法・作業療法について、希望があれば実施できるようにした。

目標 3 多様化する障害に即した対応ができるように努める。

結果 (1) 外部研修へ積極的に参加するとともに、内部研修については職員の要望等に基づくテーマで 2 回実施した。（精神障害者への対応、トランスファー実技研修）
(2) 担当者会議にはできる限り参加し、相談支援事業所と連絡を取り合い、連絡体制を強化している。

目標 4 地域とのつながりに努める。

結果 (1) 週 1 回、活動補助ボランティアの継続に加え、新規で園芸ボランティアを受け入れ、地域とのつながりを保っている。
(2) 市社協からの依頼により学生の福祉教育対応を通し、ケアセンターの周知につながった。

静岡市心身障害者ケアセンターは、静岡市の指定管理者として自立訓練事業（機能訓練・生活訓練）を実施しており、自立訓練のサービス支給期間が終了した後、継続利用を希望される方については、空席利用として日中一時支援事業を実施している。

家族構成や利用者自身の身体的、精神的状況の変化等に伴う新たなニーズに応じ、支援

の見直しが必要となる方に対して、本人や家族、必要な関係機関と情報の共有を図りながら対応している。

また、併設の障害者生活支援センター城東は、静岡市障害者等相談支援事業として市より委託を受け、委託支援事業及び特定相談・障害児相談支援事業を実施している。

疾病別人員 (平成 27 年 4 月 1 日～平成 28 年 3 月 31 日)

病 名	年間実人員 (名)	構 成 比 (%)
(身体障害)		
脳性麻痺	38	46.9%
脳血管障害	12	14.8%
脳外傷	5	6.2%
脊椎損傷	3	3.7%
その他	23	28.4%
計	81	100.0%
(知的障害)		
知的障害	37	56.9%
脳性麻痺	8	12.3%
ダウン症	5	7.7%
自閉症	7	10.8%
その他	8	12.3%
計	65	100.0%

④ (1) 障害福祉サービス事業

ア 自立訓練 (機能訓練) (二種事業) (定員 20 名)

機能訓練の利用者は、身体機能の維持・向上、生活上の必要な訓練を、静岡医療福祉センターから訓練スタッフの派遣を受けて実施している。

27 年度の日平均利用者数は、前年度の 2.6 人から 3.4 人に増加した。

- ・登録者数 (機能訓練) 22 名 (18 名)
- ・利用実績延べ数 (機能訓練) 821 名 (646 名)
- ・日中一時支援 (身体利用) 2,635 名
- ・年間延べ利用者数計 (機能訓練+日中一時) 3,456 名
- ・一日平均利用者数計 (機能訓練+日中一時) 14.3 名

月別利用者数 (年間通所日数 241 日)

区 分	機能訓練		区 分	機能訓練		
	実人員(名)	延人数(名)		年 月	実人員(名)	延人数(名)
27 年	4 月	17	28 年	1 月	22	64
	5 月	18		2 月	20	70
	6 月	21		3 月	22	80
	7 月	20	合 計	238	821	
	8 月	20	月平均	19.8	68.4	
	9 月	20	一日平均	3.4 (2.6)		
	10 月	19				
	11 月	19				
	12 月	20				

イ 自立訓練（生活訓練）（二種事業）（定員 10 名）

生活訓練の利用者は、精神障害の合併により就労事業所等への通所が困難になった方や、障害特性による配慮の必要な方が利用されている。

27 年度の日平均利用者数は、前年度の 3.0 人から 5.1 人に増加した。

・登録者数	（生活訓練）	32 名	（25 名）
・利用実績延べ数	（生活訓練）	1,236 名	（728 名）
・日中一時支援	（知的利用）	1,382 名	
・年間延べ利用者数計	（機能訓練+日中一時）	2,618 名	
・一日平均利用者数計	（機能訓練+日中一時）	10.8 名	

月別利用者数（年間通所日数 241 日）

区 分		生活訓練		区 分		生活訓練	
年 月	実人員(名)	延人数(名)	年 月	実人員(名)	延人数(名)	年 月	実人員(名)
27年 4月	26	103	28年 1月	32	96		
5月	26	85	2月	33	112		
6月	26	86	3月	32	124		
7月	27	96	合 計	362	1,236		
8月	30	103	月平均	30.2	103.0		
9月	32	99	一日平均		5.1 (3.0)		
10月	32	122					
11月	33	109					
12月	33	101					

指 (2) 日中一時支援事業（公益事業）（空席利用）

これまで、自立訓練サービスの支給期間が終了した方の多くは日中一時で継続利用をされてきたが、27 年度から自立訓練の新規利用の確保・拡大に努めた結果、日中一時の日平均利用者数は、前年度の 19.3 人から 16.7 人に減少した。

・登録者数	身体利用	59 名 (66 名)	利用実績延べ数	2,635 名 (3,001 名)
	知的利用	33 名 (33 名)	利用実績延べ数	1,382 名 (1,717 名)

月別利用者数（年間通所日数 241 日）

区 分		日中一時支援		区 分		日中一時支援	
年 月	実人員(名)	延人数(名)	年 月	実人員(名)	延人数(名)	年 月	実人員(名)
27年 4月	93	351	28年 1月	95	288		
5月	94	318	2月	94	353		
6月	93	384	3月	92	351		
7月	92	359	合 計	1,116	4,017		
8月	93	346	月平均	93.0	334.8		
9月	93	299	一日平均		16.7 (19.3)		
10月	93	352					
11月	92	317					
12月	92	299					

㊦ (3) 特定相談支援事業・障害児相談支援事業（二種事業）

ア 障害者等相談支援事業

障害者生活支援センター城東は、身体障害を中心に在宅の障害者・家族の相談に関わり、必要な機関との連絡・調整を行い、支援を行っている。

(ア) 相談件数 2,419 件 (1,051 件) (内、ピアカウンセリング 211 件)
 相談人員 717 名 (151 名) (内、ピアカウンセリング 88 名)

(イ) その他の活動 身体障害者生活支援事業 32 回 (53 回)
 ・社会資源を活用するための支援 (パソコン教室) 31 回
 ・社会生活力を高めるための支援 (外出支援等) 1 回

(ウ) 参加会議 主催した個別支援会議 8 回 (3 回)
 参加した個別支援会議 20 回 (11 回)
 連絡調整会議等 18 回 (17 回)

(年間開所日数 245 日)

イ 障害福祉サービス等の利用計画の作成 (特定相談・障害児相談支援)

障害者生活支援センター城東は、静岡市の「指定相談支援事業所」として、障害福祉サービスの利用 (身体・知的・精神) に関するサービス利用計画書を作成している。

(ア) 相談件数 1,596 件 (内児童 11 件) (1,448 件 内児童 16 件)
 相談人員 165 名 (内児童 2 名) (221 名 内児童 3 名)

(イ) サービス利用等計画作成

実人員 215 名 (208 名)・延べ件数 1,596 件 (1,448 件)

15 ワーク春日（社会福祉事業）

基本理念

明るく楽しく働くあなたを応援します。

（1）就労継続支援事業B型（二種事業）（定員 30 名）

平成 27 年度目標及び結果（就労継続B型事業所）

目標 「働きやすい作業環境を整え、作業指導を充実させる」

- ・ 安定した受注の確保と利用者の作業内容の充実。
- ・ 利用者の個別支援の充実、就労に向けた支援。
- ・ 1 日平均 26 名の利用者の確保。福祉医療関係機関との連携。

結果 授産事業は点字印刷を中心に例年並みの作業を行うことができたが、点字印刷物の発行部数の減少があり、工賃額は昨年度を下回った。封入、袋詰めなどの軽作業は安定して確保することができ、作業内容は充実していた。一般就労を希望する利用者はほとんどなく、個別支援は作業能力の向上、作業内容の充実が中心となった。利用登録者数が常時 40 名を超え、一日平均利用者数も目標を上回ることができた。関係機関とは良好な連携が取れており、利用希望の問い合わせなども多かった。

一日平均利用者数(目標 26 名)	28.6 名	(25.6 名)
平均工賃額（時間給）	250.4 円	(255.5 円)

●月別利用者数 (名)

	利用登録者数	新規利用者数	退所者数	開所日数	利用延べ人数	一日平均利用者数
4 月	41	1	2	21	590	28.1
5 月	41	2	1	18	542	30.1
6 月	40	0	1	22	634	28.8
7 月	40	1	0	22	635	28.9
8 月	40	0	0	21	568	27.0
9 月	42	2	0	19	548	28.8
10 月	42	0	0	21	609	29.0
11 月	42	0	0	20	589	29.5
12 月	42	0	0	19	554	29.2
1 月	42	0	1	19	533	28.1
2 月	41	0	1	20	569	28.5
3 月	41	1	1	22	617	28.0
合計	---	7	7	244	6,988	28.6

●障害別利用者数（平成 28 年 3 月現在）

（名）

		男	女	合計	（備考）
身体障害	視覚	2	5	7	知的との重複 1 名 精神との重複 1 名
	聴覚	1	-	1	視覚との重複 1 名
	肢体不自由	17	7	24	知的との重複 4 名 精神との重複 1 名
	内部	2	-	2	
知的障害		1	2	3	身体との重複 1 名
精神障害		3	1	4	
合 計		26	15	41	

（2）福祉ホーム事業（二種事業）（定員 6 名）

年度初めは 1 名のみであったが、4 月に 1 名、7 月に 1 名の新規利用があった。
また本年度から、当直を廃止し機械警備を導入した。

利用者数

利用者数

定員

6 名

（6 名）

一日平均利用者数（目標 4 名）

2.7 名

（2.8 名）

16 静岡済生会看護専門学校（公益事業）

※（ ）内は平成 26 年度実績

基本理念

済生の精神にもとづき、対象となる人間の生命尊厳や個人が尊重されるかけがえのない存在として捉え、それぞれの健康段階にある人に看護が実践できるような専門職業人を目指す。

平成 27 年度目標及び結果

目標

- 1 看護師としての基礎的能力を育成と済生の理念を基にした看護が実践できるような学生を育成する。
- 2 講義・演習・実習へと学生自身が学びをつなげられるよう、講義内容を工夫する。
また、臨床と教育目標を達成できるよう協働する。
- 3 教員の経験に応じた教育研修・臨床研修を行い、教育力の向上を図る。
- 4 看護師国家試験については、今年度も連続して全員合格を目指す。

結果

- ・看護を必要とする人を総合的に理解する能力を養い、看護に必要な知識・技術を習得し、それぞれの健康段階にある人に応じた看護が実践できる基礎的能力を養った。
- ・保健・医療・福祉に貢献できる看護師を育成することを目的に、それぞれの学年目標を掲げ、学校での基礎的学習や臨地実習での技術習得に励んだ結果、対象の学年においては、国家試験全員合格など、ほぼ目標を達成することができた。

本年度においては、次のとおり 118 名（114 名）の看護師養成教育を行った。

この運営には、137,708,442 円（136,125,930 円）の経費を要し、うち、20,238,000 円（18,446,000 円）の補助金*を県から受けた。

加えて、教育課程の適正な運用を図り、個々の学生への学習指導を充実・強化して実践した。さらに、臨地実習においては、臨床指導者と教員との連携を図り、学生への指導体制を整えて協働して指導に当たった。学生一人一人の理解度に応じた学習を支援し、その結果、受験生 42 人全員が国家試験に合格することができた。また、看護師としての適性がある学生を確保するため、学校説明会やオープンスクールを開催するとともに、県内のナースセンター主催の看護学校進路説明・相談会への参加や高等学校訪問により、看護学生を目指す学生を募集した。

*補助金額の大幅増は、今年度新設された「県内就業促進加算率」により 1 割増加したためである。

（1）学年別在籍者数（定員 120 名）

区分	1 年次生	2 年次生	3 年次生	計
平成 27 年度	38 名	35 名	45 名	118 名
平成 26 年度	35 名	40 名	39 名	114 名

(2) 入学試験結果状況

(名)

区 分		平成 28 年度入試	平成 27 年度入試
受験者	推薦入試	26	32
	社会人入試	28	18
	一般入試	113	123
	計	167	173
合格者	推薦入試	13	18
	社会人入試	1	2
	一般入試	50	40
	計	64	60
入学者	推薦入試	13	18
	社会人入試	1	1
	一般入試	26	21
	計	40	40

(3) 卒業生の状況

(名)

区 分	平成 27 年度	平成 26 年度
済生会総合病院	41	31
その他県内病院	1	1
県 外 病 院	0	1
進 学	0	1
そ の 他	0	0
計	42	34

(4) 看護師国家試験結果状況

(名・%)

	平成 27 年度			平成 26 年度		
	受験者数	合格者数	合格者率	受験者数	合格者数	合格者率
静岡済生会看護専門学校	42	42	100.0	34	34	100.0
県内看護専門学校(3年課程)	-	-	99.2	-	-	96.9

平成 27 年度合格率 99.2%は、厚生労働省から入手した新卒者の合格率である。

平成 26 年度合格率 96.9%は、県地域医療課から入手した新卒者の合格率である。

平成 27 年度の全国(3年課程)の合格率は 96.7% (厚生労働省) となっている。

17 静岡済生会訪問看護ステーションおしか (公益事業)

基本理念

障害や疾病を持ち、地域で生活している人々に対して、住みなれた地域で、我が家で安心して『その人らしく心豊かな生活』ができるよう、温かく思いやりの心で質の高い看護を提供します。

平成 27 年度目標及び結果

目標 1 安定した運営をめざす

結果 訪問延べ件数は 17,366 件で目標の達成率 93.8%。訪問延べ件数及び利用者実人数は増加しているが、平均単価は昨年同様であった。機能強化型ステーションの指定は取れなかった。小鹿苑居宅支援事業所、病院相談室との連携を強化して指定を目指す。

目標 2 スタッフ教育による、個々のスキルアップをめざす。

結果 部署内研修の年間計画によって年 10 回定期的に研修が行えた。平均参加率約 88% 様々な研修への紹介、参加を促して、それぞれが複数回の院内外の研修に参加。

目標 3 働きやすい職場環境の充実

結果 親睦会を 2 回行いスタッフ間の交流を図った。個人面接を行いスタッフフォローに努めた。有休取得率は常勤約 33.3% (昨年比+3.3%)、非常勤 72.4% (昨年比+10.4%) アップし、常勤者の 3 日以上連続休暇が少し取れるようになった。

目標 4 利用者への良質なサービスの提供

結果 顧客へのアンケート調査、事業年報を編集することで業務の振り返りを行った。日々のカンファレンスや事例検討を行い、また、サービス担当者会議や退院前カンファレンスにも積極的に参加を行なった。診療所の医師や他職種との連絡調整も積極的に行なった。

(1) 訪問看護事業実績

平成 27 年度は、介護保険、医療保険を含め訪問延件数は 17,366 件 (16,641 件) であり、平成 26 年度に比べ 725 件 (介護保険 12,710 件増加、医療保険 553 件減少) 増加した。また、訪問延件数のうち、6,645 件 (6,435 件) は、サテライトみかど台分である。

介護保険延べ件数	15,011 件	(13,741 件)
医療保険	2,300 件	(2,853 件)
その他(実費訪問)	55 件	(47 件)
合計	17,366 件	(16,641 件)
月平均	1447.2 件	(1386.8 件) 1 日平均 59.3 件 (56.8 件)

疾病別 (平成 27 年 4 月 1 日～平成 28 年 3 月 31 日)

病 名	人 員 (名)	構成比 (%)
神経系疾患	34	7.5
呼吸器系疾患	32	7.1
精神障害	42	9.3
脳血管系疾患	59	13.1
骨格系及び結合組織疾患	41	9.1
悪性腫瘍	93	20.6
その他	150	33.3
計	451	100.0

月別訪問者数

年 月	取扱実人員 (名)	延 件 数 (件)
27 年 4 月	287	1,467
5 月	283	1,251
6 月	288	1,498
7 月	298	1,570
8 月	305	1,475
9 月	307	1,453
10 月	304	1,490
11 月	315	1,444
12 月	302	1,447
28 年 1 月	297	1,354
2 月	291	1,393
3 月	291	1,524
計	3,568	17,366
月平均	297.3	1,447.2
一日平均		59.3

(年間訪問日数 293 日)

年齢別性別訪問者数 (平成 27 年 4 月 1 日～平成 28 年 3 月 31 日) 単位：名

年齢 性別	～ 59	60～64	65～69	70～74	75～79	80～84	85～89	90 ～	合 計
男性	14	15	14	25	35	45	34	29	211
女性	12	9	13	15	27	39	50	76	241

(2) グループホーム等への訪問看護

昨年は 1 事例について、ご家族の希望により個別契約を行い、認知症の方が住み慣れたグループホームで共に生活されている方達に見守られて、癌の終末期であっても最後までグループホームで生活して頂き、看取りまで支援することができた。

委託契約したグループホーム 1 施設に週 1 回の訪問をし、入居者の日常的な健康管理及びグループホーム職員からの相談への対応、また、必要に応じ医師との連絡調整及び指示書の発行を受け、医療処置等通常の訪問看護を行った。

